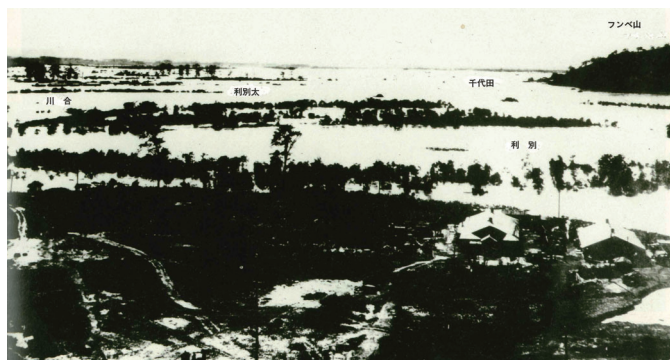


大正11年8月 未曾有の大洪水

大正8年から13年にかけて洪水が頻発しました。中でも大正11年8月洪水では、西帯広から大津にかけて河川沿いの平地が一面にわたって浸水するなどの大被害を受けました。この洪水を契機に治水計画を策定し本格的な治水事業に着手することになりました。当時の洪水を振り返る人は「まるで海のように」だったと書き残しています。

気象原因	： 台風
流域平均雨量	： 204.3mm/3 日
茂岩地点	： 223.9mm/3 日
帯広地点	： 223.9mm/3 日
流量	： 9,390mm ³ /S
茂岩地点	： 3,208mm ³ /S
帯広地点	： 3,208mm ³ /S
死者数	： 9名
被害家屋	： 4,478 戸
氾濫面積	： 5,243ha
内水氾濫面積	： 不明
外水氾濫面積	： 不明



大正11年洪水により水没した池田町千代田、利別地区

昭和27年3月 十勝沖地震

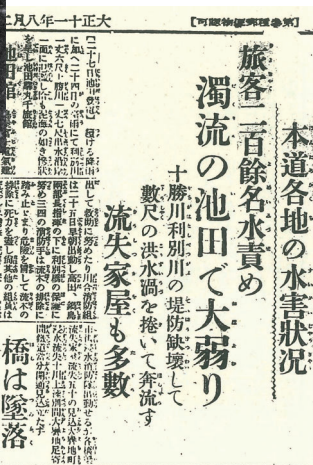
主な市町村の震度	： 震度5（帯広市）
M（マグニチュード）	： 8.2
地震・津波被害	： 住宅被害 9,507 戸
人的被害	： 死者・行方不明者 4 名
	： 重軽傷者 246 名
堤防被災延長	： 約 3km
堤防被災箇所	： 9 箇所
津波の観測	： 大津 2.7m



山形に折れ曲がった豊頃橋



猿別川の氾濫で孤立した止若橋（大正 11 年）



災害を伝える当時の新聞（大正 11 年 8 月 28 日付北海タイムス）

昭和35年5月 チリ地震津波



津波で転覆した漁船（豊頃町大津）

主な市町村の震度	： 震度1以上を観測した流域市町村なし
M（マグニチュード）	： 8.5
地震・津波被害	： 住宅被害 205 戸
人的被害	： 不明
河川管理施設被災	： なし
津波の観測	： 大津 3.0m

昭和37年8月 洪水

気象原因	： 台風
流域平均雨量	： 135.0mm/3 日
茂岩地点	： 166.6mm/3 日
帯広地点	： 166.6mm/3 日
流量	： 8,839mm ³ /S
茂岩地点	： 4,204mm ³ /S
帯広地点	： 4,204mm ³ /S
死者数	： 2名
被害家屋	： 3,793 戸
はん濫面積	： 40,768ha
内水はん濫面積	： 不明
外水はん濫面積	： 不明

台風9号により上流域を中心に流域全体で強い降雨があったことから洪水が発生しました。当時は堤防の整備が進んでいなかったことから、流域全体で外水被害が発生し、特に中下流域で甚大な被害となりました。流域全体の氾濫面積は 40,768ha にのぼりました。



育素多築堤を溢流した十勝川の濁流（昭和 37 年 8 月 2 日～ 4 日 豊頃町中央区）

昭和47年9月 洪水

台風20号による大雨で、各地で河川の決壊、道路・鉄道の寸断が多発しました。中でも JR 根室本線は10日間以上にわたって不通となり、十勝地方の物流に大きな影響を与えました。この洪水が昭和55年の工事実施基本計画の改定の契機となっています。

気象原因	： 台風
流域平均雨量	： 177.1mm/3 日
茂岩地点	： 193.1mm/3 日
帯広地点	： 193.1mm/3 日
流量	： 7,787mm ³ /S
茂岩地点	： 2,880mm ³ /S
帯広地点	： 2,880mm ³ /S
死者数	： 5 名
被害家屋	： 3,013 戸
氾濫面積	： 30,729ha
内水氾濫面積	： 765ha
外水氾濫面積	： 29,964ha

氾濫で宙ずりになった JR 根室本線（昭和 47 年 9 月 15 日～ 19 日 芽室町・芽室川）

